

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	腹腔鏡下準広汎子宮全摘術における IRIS(Infrared illumination system)の有用性に関する検討
	研究目的	早期子宮体癌に対し、腹腔鏡下準広汎子宮全摘術が実施されている。この術式では後腹膜腔から尿管を同定し、子宮頸部から外側に授動する必要がある。尿管を同定する際の剥離操作等の出血により、鏡視野が不明瞭となり尿管識別が困難となることもある。また授動に際しても尿管損傷に注意を要する必要がある。Infrared illumination system(IRIS)は、術前に尿管に挿入するファイバークテーテルで近赤外線を用いるとモニター上発光する。IRIS の腹腔鏡下準広汎子宮全摘に対する有用性を検討する。
	研究対象者	2018 年 8 月～2018 年 12 月までに神奈川県立がんセンターで IRIS を使用し腹腔鏡下準広汎子宮全摘を施行された症例。
	研究期間	西 暦 2018 年 12 月 21 日 ～ 西 暦 2020 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(手術動画) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	近内勝幸
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	婦人科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし